

福知山FM放送 第38回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成26年5月27日(火) 午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 5名
出席委員数 4名
出席委員の氏名 松田 規 委員
香月 芳雄 委員
藤田 佳宏 委員
森田 愛子 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役 松井喜久夫
局長補佐 水寫孝彦

4. 議題 1) 福知山FM放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) 次回番組審議会の開催日時について
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

1) 福知山FM放送局概況報告
代表取締役 松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・新年度番組審議員について

平成26年度より新しく植野委員、森田委員が就任。

- ・市民ど真ん中プロデュース事業「とれインとれイン」放送開始
5月15日（木）より新番組開始。福知山市の委託事業。市政についての市民インタビューを番組として放送。毎週木曜日26年度を通して放送予定。
- ・福知山市緊急告知ラジオについて
平成26年9月より福知山市が緊急告知ラジオを導入予定

2) 放送番組全般に対するご意見

松田委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

- (委員) 市の緊急告知ラジオが導入されるということだが、放送はどのような仕組みになるのか。
- (事務局) 市の緊急告知ラジオ導入に伴い現在行っている市の緊急割込放送と連動して緊急告知ラジオが自動的に立ち上がる仕組みを作ることになる。市が割り込むと通常の番組が中断し、同時に信号によって緊急告知ラジオが起動、防災行政無線と同じ内容が流れた後、停止信号により緊急告知ラジオが停止する仕組み。
- (委員) 市の緊急告知ラジオについて、台風18号において避難所に避難した人がどんな状況になっているのか情報が全く入らず不安になり家に帰ってしまったということがあなかで、どこにいても情報がキャッチできるラジオは心強い。ただ問題は情報の中身がどうついてくるのか、その辺りが課題かなと思う。
- (事務局) 福知山安全委員会などのようなもので情報を統制するという形を普段から取っておく必要があるのではないか。あらゆる福知山の危機管理に対して一元化して情報収集できる仕組み作りが必要。ハード面とソフト面と両輪でやっていくべきだと思っている。
- (委員) 市民後見センターの新しい番組を聞いたが、普段なかなか聞けない話が聞けて大変良い番組だったと思う。
- (事務局) 市政インタビュー番組や市民後見センターの番組などが始まり、短い時間の番組ではあるが放送を活用してみようという思いが出てきたのが有難い。

3) 次回番組審議会の開催日時について

松田委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、

平成26年7月29日（火）に決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。
松田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第38回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き 平成26年 12月 1日

ホームページに掲載 平成26年 12月10日

9. その他